

# ガイダンスとカウンセリングの 趣旨を踏まえた学級経営の在り方



霧島市立国分南中学校  
教諭 大重 嘉孝

# ガイダンスとカウンセリングの趣旨を踏まえた学級経営の在り方

霧島市立国分南中学校 教諭 大重嘉孝

## 目 次

1	はじめに	1
2	研究主題	1
3	研究主題設定の理由	1
	(1) 社会の要請及び新しい生活様式から	
	(2) 中学校学習指導要領から	
	(3) 生徒の実態及び生徒指導の基本方針から	
4	研究の仮説	2
5	研究の実際	2
	<b>仮説Ⅰ</b> の検証【ガイダンスの実践】	
	(1) 入学直後からのガイダンスプログラム	
	(2) 道徳授業ガイダンス	
	(3) 集団生活向上を図るガイダンス	
	(4) 学校行事に関するガイダンス	
	(5) 学級通信を活用したガイダンス	
	(6) 適切な SNS 使用に関するガイダンス	
	<b>仮説Ⅱ</b> の検証【カウンセリングの実践】	
	(1) 構成的グループエンカウンターを通じたカウンセリング	
	(2) 教育相談カルテを活用したカウンセリング	
	(3) 振り返りシートを活用したカウンセリング	
	(4) 健康観察カードを活用したカウンセリング	
	(5) 家庭と連携したカウンセリング	
6	研究の成果と課題	9
	(1) 成果	
	(2) 課題	
7	おわりに	10
◇	参考文献等	10

## 1 はじめに

今年4月、出身校である本校に赴任した。学級担任を7年ぶり、1年生担任を10年ぶりに拝命してやりがいを感じる一方、“久しぶりの担任が務まるだろうか”と不安を感じる毎日でもある。以前の学級経営を振り返ると、経験や勢いに頼る部分が多かったと自省している。新たな機会を得た今年度は、生徒の実態を踏まえ教育の動向や理論に基づく指導に努め、生徒（後輩）の学校生活の向上に少しでも貢献していきたいと願う。

## 2 研究主題

ガイダンスとカウンセリングの趣旨を踏まえた学級経営の在り方

## 3 研究主題設定の理由

### (1) 社会の要請及び新しい生活様式から

感染症拡大に伴う臨時休業明け直後の中学校入学、入学後は学校行事の中止や順延、そして2度目の臨時休業等により所属感や連帯感を体得する場が制限され、心理的に不安定な生徒が見受けられた。また、「新しい生活様式」は学習スタイルや各活動内容の変更や制約等にも影響し、例年以上に大きな戸惑いや不安感を抱えていることも予想された。十分な感染症対策を講じた上で、心の安定感を得られる集団づくり、好ましい人間関係の育成は学校教育に大きく期待されているものの一つである。

### (2) 中学校学習指導要領から

中学校学習指導要領（以下 指導要領）では、「社会に開かれた教育課程」の実現を目指し、次の6点に沿って枠組みが改善された。

- |               |                        |
|---------------|------------------------|
| ①何ができるようになるか。 | ④子供一人一人の発達をどのように支援するか。 |
| ②何を学ぶか。       | ⑤何が身に付いたか。             |
| ③どのように学ぶか。    | ⑥実現するために何が必要か。         |

このうち、④は個々の特性や課題等を踏まえた上で、ガイダンスとカウンセリングの双方により支援することの重要性が指導要領総則や同特別活動編の中で示されている。ただし、ガイダンスやカウンセリングを単に行えばよいというものではなく、生徒の行動や意識の変容を促し、一人一人の発達を支援する両輪としてとらえる必要がある。

### (3) 生徒の実態及び生徒指導の基本方針から

本校は6小学校区から構成され、近年、企業誘致や宅地開発等により都市化が急速に進展する地域にある。生徒指導の重点課題は「新たな不登校生を生まない支援体制」であり、その柱として「居場所づくり」（主体的な授業づくり/学校行事や係活動の充実）、「絆づくり」（互いの良さの認め合い/主体性や協調性の育成）の2つを掲げる。これを受けて生徒指導の基本方針を次のように定めている。

- |                  |              |
|------------------|--------------|
| ①人間的なふれあいを大切にする。 | ③生徒に存在感を与える。 |
| ②生徒に自己決定の場を用意する。 |              |

集団生活への適応や人間関係形成に向けた意欲や態度の育成を主に集団の場面で行うガイダンス、個々が抱える課題や悩みを自らの意志と責任で選択・決定できるような支援を主に個別に行うカウンセリング、この2つの趣旨を踏まえた学級経営に努めることにした。

#### 4 研究の仮説

研究の仮説として次の2点を設定し、研究に取り組むことにした。

##### 仮説Ⅰ 【ガイダンスの実践】

適切な時期・場面における情報提供や説明，主体的な学習や活動を計画的に取り入れたガイダンスを行うことにより，学校生活への適応やより良い人間関係の形成につながるのではないだろうか。

##### 仮説Ⅱ 【カウンセリングの実践】

自己の可能性の発見や適性についての自覚を深めるカウンセリングを適時行うことにより，現在及び将来の望ましい生き方について考え行動できるようになるのではないだろうか。

#### 5 研究の実際

##### 仮説Ⅰの検証【ガイダンスの実践】

###### (1) 入学直後からのガイダンスプログラム

例年，入学直後から中学生としての自覚や学校生活のルール習得を求めたり，給食当番や係決めなどの活動が多くなったりしがちであるが，今年は人間関係作りや中学校生活への不安軽減を目的としたガイダンスを優先的に実施することにした。新しい交友関係，教科担任制や中学から始まる教科，部活動等の環境の変化に興味や関心を抱き新たな決意や目標をもつ反面，新しい人間関係や学習環境につまずき，学校生活への不適応を起こしやすい時期でもある。そこで，入学初日から連続1週間，次のガイダンスプログラムを実践し，中学校生活への適応を積極的に支援した。【資料1】

##### 入学1日目 「新しい自分探しをしよう！」

学級びらきの中で「過去と他人は変えられないが未来と自分は変えられる」とメッセージを送り，中学校生活に前向きな姿勢を親子でもつ機会にする。

##### 入学2日目 「学校&先生クイズに挑戦！」

学校や職員等に関する問題に学級全体で挑戦しながら新生活について関心を持ち，中学校生活への適応を目指す。

##### 入学3日目 「他己紹介をしよう！」

インタビュー形式で趣味や特技等を聞き，その後ペアで学級全体に双方の魅力の紹介（他己紹介）を和気藹々とした雰囲気の中で行う。

##### 入学4日目 「気になる部活動は？」

校内TV放送で各部キャプテンによる部活動紹介を視聴し，部活動の目的や魅力等について考える。その後，興味のある部活動について意見交換をする。

##### 入学5日目 「他の学級の様子は？」

学年集会の中で総務による「私たちの学級自慢！」を聞き，学級や学年の雰囲気をつかみ，所属感や連帯感を味わう。

##### 資料1 ガイダンスプログラム

2日目の「学校&先生クイズに挑戦！」では，3択式の問題を出題し，ユーモアや体験談を織り交ぜた楽しい雰囲気の中で学校や職員紹介を行った。中学校生活に関する情報提供や説明を行い，疑問や不安点の解決や解消につながることを目指した。【資料2】

3日目の「他己紹介をしよう！」は，2人ペアで行うことで相手の長所や魅力等を学級全体に発信したり，



資料2 「学校&先生クイズに挑戦！」スライド（一部）

親近感や話題を提供したりするなど、アイスブレイクの役割も果たした。新たな人間関係を築くことが求めら

**他己紹介をしよう！**

- 1 名前
- 2 出身小
- 3 趣味・特技
- 4 好きな食べ物
- 5 行ってみたい国

最初、タコ紹介？をされると言われて意味が分からなかったけど、〇〇さんにインタビューをする中で、私と同じイチゴが好きということが分かり、話がもり上がりました。

資料3 「他己紹介をしよう！」スライド（一部）と生徒感想

れる時期に傾聴や認め合いの活動を通して、これから始まる中学校生活に対してある程度の見通しをもたせ、協働の姿勢で取り組む大切さを意識させることにつながったと考えられる。【資料3】

(2) 道徳授業ガイダンス

自らを人との関わりにおいてとらえ、望ましい人間関係の構築を図る道徳教育の充実を年度当初から目指した。『道徳びらき』では「道徳」の言葉の意味から、次のような道徳の学習を中学校において進めることを確認した。

道＝どんな道(人生)を歩くか？ 徳＝どんな徳(価値/考え)をもつか？	<b>道徳の学習テーマ</b>
---------------------------------------	-----------------

その後、中学校生活を山に例え、山道<sup>①</sup>をどのような考え(徳)で登るかを自由にイラストで表現する活動を取り入れた。そして、次に挙げる3曲を実際に聴きながら、“その山道を登る際に聴きたい曲とその理由は？”のテーマでグループ内で考えを出し合ったり、学級全体で確認し合ったりした。【資料4】

**《ランナー型》**

走る～走る～  
俺たち  
流れる汗  
そのままに

**《365歩のマーチ型》**

一日一歩  
三日で三歩  
三歩進んで  
二歩下がる

**《365日の紙飛行機型》**

その距離を競うより  
どう飛んだか  
どこを飛んだのか

資料4 「道徳びらき」視聴曲歌詞（一部）

3曲とも一度は耳にしたことがある有名な曲ということもあり、口ずさんだりリズムをとったりするリラックスした雰囲気の中でガイダンスを実施でき、今後の学習に見通しをもつことができたと思われる。

また、学期末には学習内容を自己評価の形式で振り返るとともに、その内容を次学期のガイダンスに反映できるよう工夫も図った。【資料5】

(自己評価のつけ方) A: とてもできた B: まあまあできた C: あまりできなかった D: できなかった		
2学期	項目	自己評価
	(1) 道徳の授業では、その時間ごとのテーマや学習目標を理解し、進んで考えたり、発表しようとしていたりできましたか。	A B C D
	(2) 道徳の授業では、「もし自分だったら、どう考え、どう行動するか」などと、自分の立場におきかえて考えることができましたか。	A B C D
	(3) 道徳の授業で、友達の見をよく聞き、自分の考えとの違いや共通点を考えましたか。	A B C D
	(4) この学期で、最も印象に残った授業は何でしたか。授業名(資料名など)と、その授業で考えたこと(新たに気づいたことや考えが変わったり、深まったりしたことなど)を具体的に書いてください。 授業名や資料名「失敗から学ぶ希望」 ※ワークシートを参考にして書く	
	この授業を通して、簡単に諦めてはいけないということをおぼえて考えを深めることができました。いかな事なとやめてしまったと思った時でも簡単に諦めてしまえば、その後一生悔やみ思うので簡単に諦めてはいけないということがよく分かった授業	

資料5 道徳自己評価カード

(3) 集団生活向上を図るガイダンス

中学校生活に慣れ始めた1学期の終わり頃、スリッパや清掃用具の散乱などトイレの使用状況が悪いことがあった。“スリッパを並べよう”“使用後は元の場所に戻そう”等の指導よりも実際の様子を写真(スライド)で確認し、マナー違反や公共心の欠如がどのような影響を及ぼすかを考える活動が効果的であると判断した。道徳の授業で取り扱った『ハインリッヒの法則』や『割れ窓理論』を想起させ、なぜルールやマナーがあり守る必要があるかを見つめ直すことを通し、規範意識の向上を図った。集団の一員として自分の特性や能力を安心して発揮できる環境(支持的な風土)を作るに

は、一人一人がその時その場で何が正しいか、何をすべきかを判断する必要があることを気付かせる機会にしたいとも考えた。その後のトイレの使用状況は改善し、同じような事例は発生していない。【資料6】

その他、自転車の利用状況が悪かったり、交通量が多い時期に事故発生が懸念されたりした場合にも適時、新聞記事や現場の写真等を活用しながら、「自他の生命を守るための適切な交通マナーは？」をテーマに考える活動を実施した。



資料6 「集団生活向上」スライド (一部)

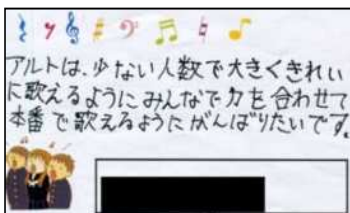
(4) 学校行事に関するガイダンス

学校行事は体験的な活動を通して、集団への所属意識や連帯感を養うとともに、教師の適切な指導の下、生徒が積極的に参加し協力する自主的な活動を助長していくことが重要である。指導要領特別活動編には「生徒の希望や意見を生かし、文化的行事の一部については、生徒が自ら活動の計画を立て、意欲的に活動できるように援助することが大切である」とあり、生徒の自主的な取組は不可欠であるが、入学後最初に体験する行事の準備や計画等の全てを生徒任せにすることはできない。また、今年度は十分な感染症対策を講じる必要もある。そこで、最初の学校行事となる合唱コンクールの意義や練習方法等を中心としたガイダンスを音楽科職員の協力を得ながら行うとともに、その中で担任としての思いや願い等を伝えた。【資料7】その後、各自で目標を設定し、意見交換や発表等を通して学級全体の意識の高揚を図った。【資料8】さらに、実行委員やパートリーダーの選出後は、適切な助言を行いながら練習計画表の作成に取り組んだり、定期的に「練習反省会」を開催して成長点や重点課題等を確認したりしながら、本番に向けて目的や目標が達成できる環境づくりを心掛けた。【資料9】

《合唱コンクールを通して...》

- 1 学級のみとまりや団結感を高め人間関係や学校生活に活気や変化をもたらす。
- 2 自分たちや実行委員中心の練習により自主性や集団力を高めていく。
- 3 困難や大変さを克服することで感動や達成感を学級全体で味わえる。

資料7 合唱コンクールの意義 (一部)



資料8 合唱コンクールに向けた決意

1年組 合唱コンクールまでの練習計画表

月	日	曜日	練習時間	練習内容	担当	その他・備考
8	28	月				
9	29	火		学校専門委員会		
	30	水		音楽科職員会議		
10	1	木	16:15~18:45 (60分)	18:00~20:00	練習時間	
	2	金		パート練習		帰校 (17:00~)
	5	月		練習時間		
	6	火		パート練習		
	7	水		練習時間		
	8	木		パート練習		
	9	金		練習時間		
	10	土		教室	各パートの前で練習 (18:00)	合唱 (合唱練習) 完成品確認 (18:00)
	12	月		練習時間		合唱パートで練習
	13	火		教室	アルトパート	合唱
	14	水		教室	パート練習	合唱
10	15	木		教室 (音楽科)	各パートで練習	合唱コンクール準備 (18:00)
	16	金		教室 (音楽科)	パート練習	合唱
	19	月		教室 (音楽科)	教室 (音楽科)	合唱 (音楽科)
	20	火		教室 (音楽科)	合唱	合唱 (音楽科)
	21	水		教室 (音楽科)	合唱	合唱 (音楽科)

資料9 合唱コンクール練習計画表

(5) 学級通信を活用したガイダンス

本学級は長子の生徒が多く、生徒はもちろん、保護者も初めての中学校生活に不安を抱えている様子が見えられた。実際、年度初めは学校生活に関する質問や問い合わせが多く寄せられたとともに、授業や学校行事等の参観機会が大きく減った今年度は、子供や学級の様子について知りたいという要望も届いた。そこで、生徒や学級の成長過程を積極的に発信するとともに、生徒や保護者に学校生活に少しでも安心感を得てもらえるよう、次の方針で学級通信を発行することにした。また、「質問&お知らせコーナー」を適時設けるなどの工夫を図り、見通しをもって学校生活に取り組める環境づくりを目指した。【資料10】

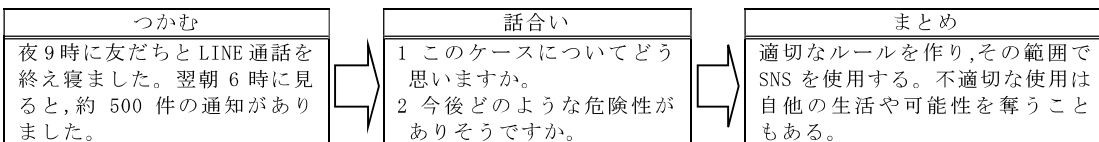
- ①生徒の成長点や活動の様子等、生徒や保護者が読みたくなる内容を中心に伝える。
- ②生徒や保護者が不安に感じていることに回答し、学校生活への適応を目指す。
- ③学校行事やテスト等の前後には、家庭でも準備や対策等ができる内容を掲載する。
- ④学活や道徳の学習を掲載し、親子で振り返ったり話題にしたりしてもらう。
- ⑤簡潔な文章で表記し、写真や感想を取り入れるなど、読みやすい内容にする。
- ⑥不適切な表現やプライバシー侵害等がないか、副担任による点検後に発行する。

<p>1年3組 学級通信</p> <p><b>Challenge!</b></p> <p>1年3組学級目標 Smile～努力する心・助け合う心・仲良くする心・積極的な心～</p> <p>【質問&amp;お知らせコーナー その4】 みなさんからの質問等にお答えする4回目のコーナーです。参考にしてください。</p> <p><b>暑さ対策</b></p> <p>1 暑さ対策の紙汗拭きシートはOK (無菌シートや汗拭きシートは不可) 2 暑さ対策の汗拭きシートはOK (ファンデーション系は不可) 3 肌着 (インナー) は白・ベージュ・グレーを基本とする 4 タオルを持ち歩く際はポケットに入る大きさにする。 →カバン等で保管するサイズについては問わない (スポーツタオル等)</p> <p><b>自転車通学</b></p> <p>1 駐輪場では必ず駐輪する (鍵を付けたままにしない) ※鍵に小さなホルダーや鉛筆等を付けた紛失防止策を! 2 違反の罰則として、次の自転車通学停止措置があり 1回目:1日 2回目:7日 3回目:1ヶ月以上 ※特に並道・交差点での一時停止・夜間の無灯火等は注意!</p> <p><b>集金</b></p> <p>学年ごとに校納金と学年費の集金日や提出場所が指定されている。校納金は事務室前のポスト、学年費は1年校舎2階で待機している先生に提出。都合により、指定日より前日または当日に提出していただく。ちなみに、今年の集金日は6月18・19日。</p> <p><b>文房具</b></p> <p>購買部の開店時間は次の通り。 ・1校時及び2校時の休み時間 ・昼休み時間 前号No.12の学級通信の裏面に販売品目一覧をお知らせ済み。購買部利用の際は、つり紙のないようにしてください。</p> <p><b>卓立</b></p> <p>就学近くには各学級の卓立を設け、生活部が次の内容で卓立を管理・点検する。 ※卓立の記名は強制! 1 毎週卓立の点検に点検 (卓立の中身管理状況) 2 毎週卓立の点検のやりかたを卓立内容で報告 3 1ヶ月以上放置した卓立は持ち主を特定して持ち帰らせる。</p>	<p>1年3組 学級通信</p> <p><b>Challenge!</b></p> <p>1年3組学級目標 Smile～努力する心・助け合う心・仲良くする心・積極的な心～</p> <p>【中間テスト】</p> <p>10月14日に実施される中間テストに向けた勉強が始まっていることだろうと思えます。「どこを勉強すればよいか分からない」「もっと点数をアップしたい」というみなさんの声に応えるため、各教科担任の先生方にインタビューしてみました。テスト勉強を進める上で大きなヒントになると思うので、ぜひ参考にしてみてください。 なお、本内容は本日(10月1日)、全学級同時に配布しています。また、記載内容の全てが公開されるわけではありませんが、相当数の問題が公開されることとなります。また、テスト範囲の変更があった際は、授業中に直接連絡があるのと、期を過ぎた後にはご連絡をいただければ幸いです。</p> <p>【英語】</p> <p>【範囲】 空中ブランコ乗りのキキ・平のいない「読書録」を楽しもう ・音声のしくみとはたらき・食感のオノマトペ・話し言葉と書き言葉 ★ 訂正ノートを見直して、「どんな間違い方をしたか」を確認しよう! ・(O)手以内での字數不足・理由は「の」から」で終わっていないなど) ★ フォームは1回解いて間違えた問題だけを、正解するまで解こう! ★ 漢字は、漢字ノート(ワリ)の答えを確認して問題を解き、間違えた問題だけを正解するまで解こう!</p> <p>【英語】</p> <p>【範囲】 Unit4~6. Daily Scene. 2 【語句】 基本文の復習やワーク、読解トレーニングをしっかりと取り組んでおく! ★ 複数形のつぎ方 (eggs, boxes, oranges...) ★ 三人称単数現在形 (plays, teaches, studies...) ★ Daily Scene (辞書のたずね方や電話のかかり方) も確認しておきましょう!</p>	<p>【数学】</p> <p>【範囲】 今回の中間テストは1次方程式を中心に問題が出ます。教科書p90~p119、Lサポp67までにあります。1次方程式のポイントは2つ。 ①基本的な方程式を解くことができるか。 ②文章題を読み取り、方程式を立てて、解を導くことができるか。 解けなかった問題は必ず2回まで解かせるので、方程式の練習はたくさんしてください。中間テストは授業の内容がだれよりも理解しているか確かめるテストになります。実力テストとは違うので、勉強すればその点数は伸びるはずです。教科書p107の問題が解けるようになれば、計算は大丈夫だと思いますので確認してみてください。</p> <p>【理科】</p> <p>【全体】 理科は実験・観察の内容を復習することが大切です。今回で言えば、気体発生です。二酸化炭素を発生させるためには、何と何を混ぜるか、集め方は何置換か、石灰水を使うと分かるかなど、計算については密度や濃度など計算が苦手な人は苦労すると思います。公式を使いこなせるようにはしておきましょう。 また、ポストテストは重要語句を覚えるために行っているもので、ぜひ復習してください。特に植物・動物などの分野は重要語句がたくさん出ます。授業でやっているポストテストを毎回確認・復習していれば、重要語句は確実に覚えられようになっています! 【学習のポイント】 ①濃度の計算 ②白い物質の発生 ③いろいろな気体発生と集め方、調べ方 ④物質がとけるは ⑤再結晶 ⑥溶解度</p> <p>【社会科】</p> <p>【全体】 ワークシートやワークを徹底的に見直す! ※ 部分は間違いないように! 【地理】 アジア州とヨーロッパ州 (教科書p65まで) 出題 アジア州は... 自然環境 (ヒマラヤ山脈・黄河等) &amp; 人口分布 (中国・インド) 工業 (アジア) / 経済特区 (ASEAN) &amp; 農産 (二穀作/プランテーション) ヨーロッパ州は... 自然環境 (地形や気候) &amp; 民族・言語・農業 (混合農業) 【歴史】 戦国時代~平安時代までを出題 大化の改新 (天智天皇・公地公民・班田収授の法・班田永年私財法) 桓武朝政 (桓武天皇・醍醐天皇の御政) 院政 天平文化 (古事記・日本書紀) 盛風文化 (源氏物語・枕草子) 等</p>
--	---	---

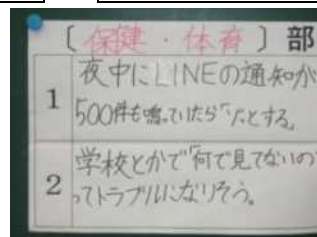
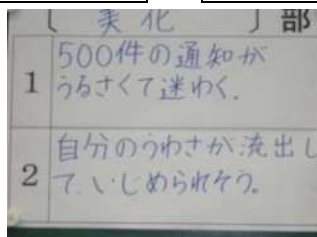
資料10 学級通信No.14 (質問&お知らせコーナー) / 同No.31 (中間テスト対策)

(6) 適切なSNS使用に関するガイダンス

夏季休業前あたりから、生徒のSNS使用に関するトラブルが出てきた。当初は当該生徒への指導を行ってきたが、学級全体で自分のこととして深く考えたり危険性を再認識したりする機会が必要であると判断し、次のような内容でSNS使用に関するガイダンスを実施した。問題事例を提起した上で、これまで学習したことや体験したことを専門部ごとに出し合い、その内容を全体場で発表・共有することにした。また、実際に起きた事例やトラブルを挙げながら、どのような姿勢や考え方が必要であったかを想起させ、最後に説論で締めくくる学習形態で展開した。【資料11】



資料11  
SNS学習の形態  
と専門部からの意見



仮説Ⅱの検証【カウンセリングの実践】

(1) 構成的グループエンカウンターを通したカウンセリング

誰もが人生の中で遭遇するであろう問題（発達課題）を解きつつ、成長することを援助するカウンセリングである構成的グループエンカウンター（以下 SGE）を取り入れた支援を積極的に試みた。SGE は好ましい人間関係を築くための社会的スキルを身に付ける上で効果的で、教育的色彩の強い開発的カウンセリングの一つでもある。オリエンテーションでは、学習の流れや約束事を確認した後、2つのショートエクササイズ（ジェスチャートーク等）に挑戦し、SGE がふれあい（本音と本音の交流）や自他発見（固有性・かけがえのなさ）を目的とする学習であることを体感させた。【資料 12】

<p><b>《学習の流れ》</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 インストラクション →ねらいや注意点の確認</li> <li>2 エクササイズ →実際の活動</li> <li>3 シェアリング →発見内容や感想の共有</li> <li>4 学習のまとめ →学習内容のふりかえり</li> </ol>	<p><b>《4つの約束》</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 先生の指示やルールを守る</li> <li>2 友だちの意見や考えを認める</li> <li>3 秘密を守る</li> <li>4 悪ふざけやからかいをしない</li> </ol>	<p><b>ジェスチャートーク</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 表現（ジェスチャー）内容を想像</li> <li>2 一切声を出さない</li> <li>3 口の形でも伝えない</li> <li>4 メモはしない</li> </ol>
--	---	--

資料 12 SGE オリエンテーションスライド（一部）

また、年間プログラムを作成し、適切な時期に計画的に取り組むことにした。【資料 13】その際、緊張をほぐし和やかな雰囲気づくりを目的として、生徒からのリクエスト曲を流しながらショートエクササイズを毎回導入部分で取り入れた。なお、第1回及び第4回のSGEは次の内容で実践した。【資料 14】【資料 15】

回	エクササイズ	カテゴリー	主なねらい等
1	担任を知る YES/NO クイズ	自己理解	担任の人柄を知り不安を軽減するとともに、担任の自己開示を参考に自己理解を深める。
2	気になる自画像	自己理解	肯定的な言葉により支持されることを通して自尊心を高め、和やかな人間関係を作る。
3	ひと夏の経験	他者理解	夏休みの出来事を友人と話し合うことで不安を取り除き、学校生活をスムーズにする。
4	ほめ言葉「さしすせそ」	自己受容	たくさんの称賛の言葉を受けることで、自信をもった生活を送れるようにする。
5	私の話を聴いて	感受性の促進	話の聴き方により相手の受け方や印象が異なることを理解する。
6	すごろくトーク	自己主張	自分の思いや体験を語り合うことを通し、抵抗なく自分について話することができる。

資料 13 SGE 年間プログラム

主題	担任を知る YES/NO クイズ（自己理解）	
目標	学級担任をよく知り、不安を軽減するとともに、担任の自己開示をモデルとして生徒自身が意欲的に自己紹介できるようになる。	
導入	学習活動	指導上の留意点
	1 ショートエクササイズを通して、安心して発言や活動ができる雰囲気を生徒相互でつくる。	1 音楽を流してリラックスできる環境づくりを行う。
展開	<p>【インストラクション】</p> <p>2 YES/NO クイズの進め方を知る。</p> <p>(1) 4人グループを作る。</p> <p>(2) 協力して YES/NO を考える。</p> <p>【エクササイズ】</p> <p>3 回答後に答え合わせをする。</p> <p>(1) 答えを相談して決める。</p> <p>(2) 解答を聞き、○をする。</p> <p>(3) 正解数を確認・称賛する。</p> <p>(4) 追加の質問を考える。</p> <p>【シェアリング】</p> <p>4 活動を終えた感想を出し合う。（期待される感想）</p> <p>親近感/意外性/共通性 等</p>	<p>2 グループ内で協力して YES/NO を考えたり話し合ったりすることを確認する。</p> <p>3 一問ずつゆっくりと読み上げる。全グループが○印を付けた後、次の問題に移る。ユーモア等を交えながら答えを発表し、和やかに担任が自己紹介をする。</p> <p>4 率直な感想や意見が出るようなサポートをしながら巡回する。</p>

【第1回】(大重) 先生は進分等中学校出身であり、今でも校歌が歌える。	11/17	100
【第2回】(大重) 先生の手は白いし、血液型はA型、星座はおとめ座である。	11/18	100
【第3回】(大重) 先生は、トロンボーン(楽譜)を吹くことができる。	11/19	100
【第4回】(大重) 先生は、日本史が専門で得意分野は鎌倉時代である。	11/20	100
【第5回】(大重) 先生は、被褥はるがさんが大好きで、テレビCMも見逃さない。	11/21	100
※サービス問題	11/22	100
【第6回】(大重) 先生は、よく人から竹内涼真に似ていると言われる。	11/23	100
【第7回】(大重) 先生は、牛乳と物の子が大好きで、絵画ではお代わりをしている。	11/24	100
【第8回】(大重) 先生は、中学校時代に自転車に乗っていると急に車にひかれそうになったことがある。	11/25	100
【第9回】(大重) 先生は、「過去と他人は変えられないが、未来と自分を変えられる」という言葉が好きである。	11/26	100
【第10回】(大重) 先生は、1年3組の学級目標『Smile～努力する心・助け合う心・仲良くする心・積極的な心～』が好きである。	11/27	100



終末	<p>5 教師の話聞く。(まとめ)</p> <p>知り合って聞かないみんなに自分のことを色々で紹介するのは少し恥ずかしい気持ちがあったけど、みんなが真剣に考えたり笑ったりしてくれたことが嬉しく、身近に感じました。「思い切る」とは恥ずかしいとか、変に思われなかな？という気持ちを切ることに。少しの勇気で自分が変わりますよ！</p>
----	--

資料 14 第 1 回 SGE 指導内容・ワークシート・生徒感想

主題	ほめ言葉「さしすせそ」(自己受容)
目標	クラスメイトからたくさん称賛の言葉を受けることにより、自信をもった学校生活を送れるようにする。
学習活動	<p style="text-align: center;">学習活動</p> <p style="text-align: center;">指導上の留意点</p>
導入	<p>1 ショートエクササイズを行い、活動しやすい和やかな雰囲気を作ります。</p> <p>1 指遊びゲームを通してなるべく多くの部員と交流させる。</p>
展開	<p>2 【インストラクション】</p> <p>2 「ほめ言葉さしすせそ」の進め方を知る。</p> <p>2 自分以外の専門部員等学習の称賛点や成長点等学習を伝え合うことを確認する。担任が事前にもらったほめ言葉を例として提示する。</p> <p>3 待機中に自分にどんな意見が出てくるか想像させる。</p> <p>【介入】</p> <p>ほめ言葉が出ない時は助言を行う。否定的な内容がないか確認をする。</p> <p>3 ほめ言葉について専門部員で考え、その内容を相手に伝える。</p> <p>3 待機中に自分にどんな意見が出てくるか想像させる。</p> <p>4 嬉しさや肯定感等を共有できるような助言を行いながら、各専門部を巡回する。</p>
終末	<p>5 教師の話聞く。(まとめ)</p> <p>私自身もA先生からほめ言葉もらった時は、とても嬉しかったです。こんなにいい所を考えたり見つけたりしてくれたんだと…君たちも多くのほめ言葉もらいこれからは頑張るぞ、自分を認めてくれてありがとう等の気持ちをもてたのではないのでしょうか。</p>

カルアインタビューとはどういう意味なのかなと聞きました。先生は竹の好きだと思っていたのでびっくりしました。自転車でひかれなくて良かったですね。あと牛乳飲んでみたかったのはさすがに弱さではないでしょうか。

「**〇〇**」さんの「さしすせそ」

1年 **〇〇**組 **〇〇** 氏名 **〇〇**

さすが! 「さすがだね」と感じたこと 「さすが〇〇さんだ」と思ったこと

しようす! 「上手だね」と思ったこと 「〇〇は一番上手!」

すごい! 「すごいね」と感じたこと 「〇〇さんのあげてすごかった!」

せんすいい! 「〇〇のセンスの良さはどカイヤ!」 「〇〇のセンスはカッコいいよ」

ぜんないところばかりのあるあなたです...

自分が思っているのと友達が思っているのと違いのが多かった。新しい自分に気が付けたと思ひ、みんなの個性が分かった。

資料 15 第 4 回 SGE 指導内容・ワークシート・生徒感想

(2) 教育相談カルテを活用したカウンセリング

本校では年 5 回の定期教育相談を実施している。本人や保護者に望ましい在り方を助言すること以外に、個性や努力点を見つめ、それらを大切にしていけることにより自己肯定感を高め、自己実現や自己の確立に結び付く教育相談になるよう心がけた。また、悩みや困難の解決を援助し、好ましい人間

**教育相談事前カルテ**

1年 **〇〇**組 **〇〇**番 氏名 **〇〇**

1 1学期にがんばったところ ※良かった点&伸ばしたい点等

私が一学期にがんばったことは、**〇〇**の仕事と**〇〇**の教科連打です。なぜなら**〇〇**部長として三分前着席一分前黙相と呼びかけたからです。また**〇〇**の教科連絡も忘れないように毎日時間割をチェックしました。

2 1学期にがんばりが足りなかったところ ※悪かった点&変えたい点等

**〇〇**の教科連打をたまに忘れるときがありました。なので忘れないようにすぐに黒板に書くにしました。

3 中学校に入学して変わったところ ※良い面を中心に…&小学校の時と比べて…

小学校の時と比べて変わったところと2つあります。1つ目は視野が広がったと思ひ、小学校が違いうちがいたりしたからです。2つ目は「やる」という心です。私はみんなの前に出ることを発表するのが苦手ですが、**〇〇**部長になると、みんなが褒めてきたという事です。

4 クラスの雰囲気 ※クラスメイトと過ごしていて感じる事

男女共に仲が良く、過ごしやすい雰囲気でした。

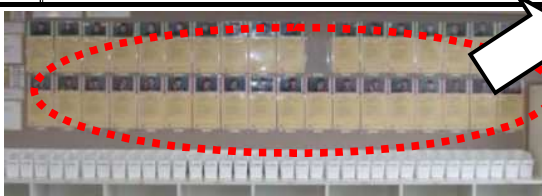
資料 16 教育相談カルテ - 7 -

関係の育成や理想とする姿に向けて努力しようとする態度につながることも目指した。ただし、1年生は教育相談に慣れていなかったり、緊張して思うように話せなかったりすることも予想されたため、事前に「教育相談カルテ」を作成（記入）し、この内容に沿ってインタビュー形式で聴くことで、少しでも安心して話ができる環境づくりを行った。また、生徒の多様な考えや抱える課題を把握し、事前に的確な助言を考えたり情報収集を行ったりする上で、とても効果的であった。【資料 16】

(3) 振り返りシートを活用したカウンセリング

カウンセリングの方法は面接や面談だけではなく、教師が日頃行う意図的な対話や言葉掛けなども含まれる。その一環として、毎月末に1ヶ月間の生活面や学習面等の振り返りを行い、その内容について短時間ではあるが、一緒に確認する機会を設定した。また、全生徒の振り返りシートは他の生徒も見ることができるようポートフォリオ式に教室後方に掲示した。自他の良さを認め合ったり互いを尊重したりする体験を通して、自己肯定感の高まりや自己確立の基盤となる資質・能力の育成につながることを目指した。【資料 17】

振り返り項目	
1	学級目標を意識した学校生活を送ることができましたか？ Smile～努力する心 助け合う心 仲良くする心 積極的な心～
2	学級や学校生活の向上や充実に向け、自分なりに努力や工夫をすることができましたか？
3	クラスメイトや部活動メンバーの良い面や魅力の発見に努めることができたか？
10	係活動や部活動（習い事）等、自分の役割や目標達成を意識した生活を送ることができましたか？



資料 17 振り返り項目（一部）と振り返りシート

(4) 健康観察カードを活用したカウンセリング

本校では朝の短学活の中で呼名式の健康観察を実施している。今年度はこれに加え感染症拡大防止の一環として、登校前の検温や健康状況を「健康観察カード」に記入して担任に提出することになった。このカード回収の際もカウンセリングの好機ととらえ、「今日も元気？」「昨日早退したけど今日は体調大丈夫？」などの言葉掛けを行い、一人一人の表情や反応等を確認することにした。毎朝全員を対象に実施するため多少時間は要するが、朝から生徒と言葉を交わすことができ、生徒が抱える悩みやトラブル等を早期発見する一助にもなった。特に表情がいつもと異なった際は、休み時間などに個別に相談活動を実施したり、関係職員と情報共有を行ったりした。【資料 18】



資料 18 朝のカウンセリングの様子

(5) 家庭と連携したカウンセリング

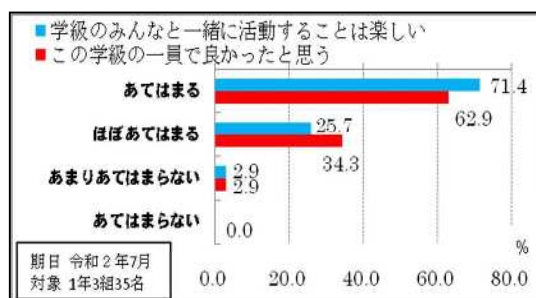
カウンセリングの趣旨を踏まえた指導を行う上で、「生徒の家庭との連絡を密にすること」（指導要領第5章の第3の2(3)）は不可欠であり、保護者との緊密な連絡体制の構築を入学当初から目指した。電話や手紙等で行うこともあるが、直接会った方が良いと判断した場合や家庭から要望があった際は、次の点に留意した家庭訪問を実施した。ただし、十分な感染症対策を講じた上で、なるべく短時間で実施できるように努めた。また、学校において実施する場合（教育相談等）も同様の内容で行った。

- ①内容や時間等を事前に電話で確認する。
- ②副担任等とともになるべく複数で訪問する。
- ③無理に生徒と面会せずに、必要に応じて保護者と情報交換等を行う。
- ④訪問後は内容や時間等の記録を残す。

6 研究の成果と課題

(1) 成果（ア～ウは仮説Ⅰ，エ～カは仮説Ⅱに関連）

ア 「級友と活動することが楽しい」「学級の一員で良かった」のアンケート回答が9割以上あり、大部分の生徒が連帯感や所属感をもつことができていると考えられる。【資料19】



資料19 生徒アンケート

イ 入学当初、学級全体が消極的で他者への依存が強い傾向にあったが、1学期後半からは自発的・協力的に係活動や清掃に取り組む生徒が増えてきた。

学級では文化広報部長を中心に、毎月、朝は曲を流したり、昼休みは、みんなを集めて、みんな、練習をしたり、時には、パート練習をしたりし、それぞれのパートの特徴をいかに、どうすればよいかとみんなが話し合い、パートリーダーが、このようにみんなの前で、発表し、それに向か、てがんばるみんなの姿が、いいなと思いました。そしてみんな、最後まで、がんば、たので、それがとても良かったと思、いしました。

資料20 合唱コンクール感想

ウ 学校行事の準備や練習を実行委員が中心となって取り組み、学級全体の協力や団結心が高まってきた。行事後には、お互いの頑張りを称賛したり感謝したりする気持ちを素直に表せる雰囲気醸成されてきた。【資料20】

エ SGE学習後の振り返りでは、ふれあいや自他理解に関する質問に対し、毎回ほぼ全員が「達成できた」と回答し、本学習の目標や内容が定着してきた。

学校に来れるようになり、明るく、アツアツも楽しいです。期末テストを頑張りました。成績も上がって良い成績になったと思います。また、苦手だった社会もわかるようになってきたのでうれい、です。

資料21 2学期の振り返りシート

オ 家庭との連絡内容を基にした教育相談を計画的に推進し、自己の可能性や適性についての自覚を深めるような助言や情報提供に努めることができた。

カ 小学校から不登校傾向で学習を苦手としてきた生徒の登校日数や学習意欲が2学期後半から大幅に改善し、楽しく学校生活を送っている。また、当該生徒への見守りやサポート体制が自然な形で構築されてきた。【資料21】

(2) 課題（仮説Ⅰ・Ⅱの両面に関連）

ア 支持的風土が醸成されてきた学級の中で、質の高い学習環境（生徒も教師もワクワクする授業）や授業連動型家庭学習（家庭学習で学んだことを取り入れた授業）をどのように整備及び充実させていくか。【資料22】

質問項目	1回目	2回目
授業中に「できた」「わかった」と感じることがある。	3.50	3.36 ↓ -0.14
授業中は先生の話をよく聞いている。	3.65	3.39 ↓ -0.26
授業中、自分から進んで学習に取り組んでいる。	3.15	3.24 ↑ +0.09
学習した内容をきちんと理解するための自分なりの学習の仕方がある。	3.00	2.91 ↓ -0.09
学習意欲全般	13.29	12.91 ↓ -0.38

対象 35 名  
1 回目  
5 月 14 日実施  
2 回目  
10 月 8 日実施

資料 22 学校楽しいと

イ 本校生徒指導の重点課題である「新たな不登校生を生まない支援体制」の拡充を図るため、ガイダンス機能及びカウンセリング機能を位置付けた教育課程の編成や生徒指導の充実をどのように推進していくか。

ウ 感染症対策の中で、生徒同士の活発な交流や外部人材を活用した学習をどのように実施していくか。また、開催の有無が懸念される学校行事や校外学習等の代替案も同時に作成していく必要がある。

## 7 おわりに

母校に勤務できることは誇らしく思う反面、今までに感じたことのないプレッシャーの連続でもある。後輩や郷土のために何ができるか常に意識し、今後も教育活動に愛情と情熱をもって取り組んでいきたい。

### ◇ 参考文献等

中学校学習指導要領総則（文部科学省）  
中学校学習指導要領特別活動編（同）  
エンカウンターで学級が変わる中学校編（図書文化社）  
「学校たのしいと」（鹿児島県総合教育センター）  
霧島市「授業連動型家庭学習」の手引き（霧島市教育委員会）